

環境保全への第一歩！

## 『第1回GT植樹・育樹プロジェクト』 始動

地盤調査・地盤改良事業などを行うジオテック事業部  
『第1回GT植樹・育樹プロジェクト』を企画



2024年9月27日から28日の2日間、環境パイル(S)工法協会が主催し、(株)百森、(株)木の里工房木薫、西粟倉百年の森林協同組合の協力のもと、岡山県英田郡西粟倉村地内で実施されました。

2007年度より、環境パイル工法はその普及によって、国産木材の利用、林業活性化、森林保全とCO2削減に寄与してきました。

今回のプロジェクトでは、国産材の利用拡大と森林の育成・保全活動を通じて、社員や関連会社の方々がGX(グリーントランスフォーメーション)の更なる重要性を認識頂ける機会の提供を目的としました。

今回植樹した苗木は居住地に近い山裾に植樹する事から、大雨による自然災害リスク(崩落等)、生物多様性、環境保全等を考慮して、4種13苗(ヤシャブシ、コハウチワカエデ、リョウブ、ヤマザクラ)の広葉樹を選定しました。また、植樹後の苗木にシカによる食害防止を目的として鹿柵を設置しました。

参加者からは、環境保全の重要性を再認識し、今後の活動に向けて意欲を高めました。これからも地域と連携し、持続可能な未来のために、一過性ではなく、継続的に本プロジェクトへ参加し環境保全に取り組んでいきます。

環境パイル工法は、木材の成育過程で吸収したCO<sub>2</sub>を地中に長期間貯蔵し、従来工法に比べてCO<sub>2</sub>排出量を大幅に抑制する技術です。

この工法は、高品質な防腐・防蟻処理を施した木材を使用し、地盤補強を行います。間伐材を含む国産材を使用し、第三者認証も取得しています。これまでに累計50,768棟で使用され、260,038立方メートルの木材を使用し、149,694トンのCO<sub>2</sub>を固定しました(2024年10月末時点)。

今後も、環境負荷低減技術の「環境パイル工法」を全国展開し、CO<sub>2</sub>削減に取り組んでまいります。

企 画 : 兼松サステック株式会社

<https://www.ksustech.co.jp/>

主 催 : 環境パイル(S)工法協会

<https://www.k-pile.net/>

参加企業 : 高原木材株式会社

<https://www.takahara-wood.com/>

株式会社アートフォースジャパン

<https://www.artforcejapan.co.jp/>

出雲建設株式会社

<https://www.izumo-kk.co.jp/>

報国エンジニアリング株式会社

<https://www.hokoku-eng.jp/>

開催協力 : 株式会社百森

<https://www.hyakumori.com/home>

株式会社木の里工房木薫

<https://www.mokkun.co.jp/>

西粟倉百年の森林協同組合

<https://hyakukumi.com/>